

道内教友挙って集おう！令和2年9月6日



北海道教務支庁 第100回記念祭

天理教北海道教務支庁

第100回記念祭

第567号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話 011(561)-1148
FAX 011(561)-1190
E-mail: kyouku-hk@vega.ocn.ne.jp

印刷

三浦印刷株式会社

《立教157年、現教務支庁落成の時の三代真柱様のお言葉より》
「教区活動というのは、同じ地域に居合わせる者同志が、教会が違つから、系統が違つからという事を越えて扶け合い、一人ひとりが信仰の成人の上に、一つひとつの教会の内容充実の上に、骨身惜しまぬ扶け合いをしつかりしていく事が大切である。」

第百回 北海道教務支庁 記念祭に向かつて

天理教北海道教区は、立教183年9月6日に第百回北海道教務支庁記念祭を勤めさせて頂く事になりました。

北海道は明治政府の奨励により多くの人々が開拓の為、道内に渡り見事に素晴らしい北海道を築いて下さいました。その中に我々の道の先人、先輩の方々が開拓生活の中でも教祖の御名を広め、おたすけに奔走し数多くの教会設立の御守護を頂かれたのであります。その頃の布教に歩かれた先人たちはどんな思いでお通り下されたのでしょうか。熱心な日々の信仰生活、信仰態度からおたすけに歩き、幾度の天災に遭うも親神様の親心を信じ、心倒すことなく同じ地域に住む人々がお互いにたすけ合い、一手一つとなつて、尚も心勇んで布教に歩かれたのであります。

北海道教区は、板倉槌三郎先

(記念祭趣意書より抜粋)

生が初代教区長に就任され、明治41年、北海道教会組合事務所を設置、大正7年には現在地に移転、開庁式が執行されました。

この開庁式には、二代真柱様、御母堂様のお入込みを賜り、又この7月から8月にかけては40日にわたり道内各地をご巡教下さいました。おちばからも上級教会からも遠く、厳しい自然環境の中にある道内の人々にとつて、この庁舎の落成、親心をもつてのご巡教に、その喜びは如何ばかりであったことでしょう。

大正10年にはこれを記念して第一回教務支庁記念祭がつとめました(写真)。その気持ちを受け継ぎ、これより毎年記念祭を歴代教区長を志として、心一つにお勤め下さり、今年は第百回記念祭を勤めさせて頂きま

北海道教務支庁 第一回 記念祭の日記

旧道庁の文書館という資料館で、大正10年9月7日の第一回北海道教務支庁記念祭の模様を現すマイクロフィルムの存在がわかった。

当時書記をつとめていた森秀太郎氏の日記による。

第一回北海道教務支庁記念祭は大正10年9月7日と記録されている。森秀太郎日記(旧道庁、文書館所蔵)(1921年)

七日 記念祭執行

参拝者約参百名以上
午前十時開会、十一時半終了
午後一時より講演

講演者 田村貢(空知) 上本清五郎(豊平) 神保婦人(キミ)(小樽港) 石上市平(静内) 藤野清(東旭川) 藤井伝吉(手宮) 氏等なり
各係

- 齋主 藤田好助(夕張)
- 副齋主 山本鹿蔵(統北)
- 典儀 藤野竹五郎(東旭川)
- 祝主 更谷鶴松(北旭) 他
- 読師 塩野谷岩次郎(上川)
- 後取 唐沢辰吉、八子吉六
- 手〇 大山半蔵 装束師 岡田佐平、蟻馬利し吉 山本徳三郎氏也
- 会計 松岡鉄蔵 唐沢辰吉
- 玉串 主事総代 笹谷延一
- 会内教会長代理 山本角蔵(札幌)
- 単独教師総代 北見栄蔵(小樽)

※旧字体の為、読み違い判然としない文字多々ありご容赦下さい。

災救隊道内各地で冬季訓練

《各支部冬季訓練 報告》

2月20現在 (教区に報告のある支部のみ)

●室蘭支部

【日時】 2019年12月14日

【場所】 本輪西分教会

【内容】 隣接する山の木の伐採作業、支部青年会と合同

【人数】 12名

【成果】 25本伐採 (10m弱の雑木など)

●南空知支部

【日時】 2020年1月29日～30日

【場所】 三笠市

【内容】 市社協の災害ボランティアセンター設置・運営訓練、独居老人宅・施設の除雪作業

【人数】 両日延べ45名

【成果】 両日合計6軒 (29日4軒(老人宅2施設)29日2軒(老人宅1施設))

【成果】 両日合計6軒 (29日4軒(老人宅2施設)29日2軒(老人宅1施設))



南空知

立教183年 [令和2年] ～開催日程～

天理教 基礎講座 「北海道会場」

天理教北海道教務支庁

5/17(日)

講師：和田与志男

7/5(日)

講師：青木 寿子

11/29(日)

講師：笹田 道継

[地方会場]

網走市 6/21(日)

講師：奥村 尚人

むかわ町 7/19(日)

講師：高橋 太志

深川市 10/4(日)

講師：中村 則之

滝川市 11/1(日)

講師：奥村 尚人

開始時刻 13:30～ (90分間)
受講年齢 満15歳～
受講御供 500円

※地方会場の詳細については、各支部にお問い合わせ下さい
主催：天理教北海道教務支庁基礎講座事務局(011)561-1148

●空知支部

【日時】 2020年2月1日

【場所】 滝川市

【内容】 独居住宅、支部内教会の除雪作業

【人数】 44名(婦人会、少年会含む)

【成果】 独居住宅5軒9ヶ所、教会2カ所の除雪



空知

●天龍支部

【日時】 2020年2月19日～20日

【場所】 深川市内

【内容】 独居住宅の除雪

【人数】 両日延べ20名婦人会含む

【成果】 両日合計6軒(屋根の雪降ろし4軒、独居高齢者宅玄関周り及び窓雪の除雪2軒)



天龍

市の冬季防災訓練に参加

●旭川支部では旭川市主催の寒中の冬季訓練に日頃から防災協

定を結んでいる団体として、天理教災害救援ひのきしん隊へも参加案内があり、旭川支部から3名が参加した。
訓練は1月29日午後から、旭

ずっと以前になるがジャンボ旅客機が御巣鷹山に墜落してほとんどの人が亡くなられた。お盆前の時期であったため満席であり本当に痛ましい事故であった。

Aさんはその便で羽田から大阪へ帰る事になっていた。Aさんが羽田空港で出発便を待っていたら、そこへ同郷の知人が来たのである。知人はAさんより後の便のチケットであったのだが、帰ったら用件がまつており一刻も早く帰りたいのでチケットを交換してくれないかとAさんに頼んだ。そしてAさんは了解して便をゆずったのである。

結果、知人は亡くなりAさんは助かったわけである。まさに如何なる科学技術も人の運命にはさからうことは出来ない。Aさんは複雑な心境に涙しながらも、自分の幸運に感謝して深く神様に頭を垂れたと聞いた。

人の心はだんだんと時を経てくると何事においても感謝や感動の心はうすれてくるものだ。Aさんもはじめは生かして頂いている事に感謝の念で暮らして

いたが、やがてすべてがあたり前となってきた。そう、すべてに於いて人生はあたり前は危険なのである。Aさんは自分の悪しきいんねんに負けて、人生の道を踏み外してしまい社会の表舞台から消えてしまわれたと聞いた。

私はこの一連の事実から悟ら

教理随想三十五

いんねん一条

木岡 昭

せて頂いた。

チケットを交換したために起ったAさんと知人の結果は運命としか云いようがない。残念ながら受けなければならぬ事実である。

Aさんもし交換していなければ自分が受けなければならぬ事態なのである。だからこの場合、その事態にめぐり合う自

分を神様からのお知らせとして悟る事が本当に大切だと思っている。私達の人生には何も無いところには煙は立たないのである。

Aさんは、見せられる事態から自分にも悪いいんねんがあると真底悟って、これを機に更に更にいんねんの切り変えをさせて頂くべく、生かされていることの使命として人だすけの上に努力を誓い実践していくべきであったと悟らせて頂くのである。人生にはどんなに懸命に働いていても、自分の力で押し返す事の出来ない波が大なり小なり来る。しかしそれをどう受けとめ、どう歩むかで天と地の差が生れる。

信仰はあたり前になつてはならない。信仰は情性に陥るとだんだんと心の徳はなくなっていく。教祖はとにかく「元一日」の心が大切だと教えられる。助けられた元一日、人生の転機となった元一日を時が経っても忘れない事である。忘れると悪いんねんが押し寄せてくる。自分のまく種は、良きも悪しきも必ずまいた種通りに芽生えくるのが天の理である。

川市東光にある十勝岳の泥流災害をにらむ・最新設備の整った・防災センターで行われた。訓練の冒頭、「一昨年のブ

ラックアウトは、季節を問わず、いつでも起きることだと理解しましょう」とのお話があり、いっどこで起きるかかわからない災害に遭遇したとき、一番近い立場の自らが実際に体験してみる内容が随所にあった。

(体験談) この度、市で開く冬季の防災訓練に、初めて参加し、各企業・各団体と連携を強め、いざという実働の時に、どんなことが必要であるかと、体験を通してつかみ取りました。

まず避難所となる寒くて薄暗い体育館に、発電機を動かして電気を起こし、電灯をつけ、石油ストーブに火をつける。これに30分以上かかる。暖かい服装はしていたが、マイナスの気温の中では凍えてくる。次に、非常食の用意。25年保存がきく缶詰めの「鳥雑炊」を缶切りで開けて、温める。もつとチャッチャとこせいやと言われるが、手ががじがんで思うように行かない。50人ほどに試食が回るの

に、15分。隅の方では段ボール製の簡易のベットが置かれていて、市の職員は今晚泊まると言っていた。

個人に必要な装備・寝袋、防寒着、靴、帽子、手袋、ラジオに懐中電灯、水に簡易トイレ、ティッシュペーパーにタオル、もう一杯で持てません。というくらい。

そしてここから本番、避難所を開設するためには、ここに集まった人の中から、避難所の運営をするスタッフが必要で、避難民を仕分けることをします。食事の世話や配りもののできる健康で動ける人、病気がある人、少し不自由がある人などなど。

そこで学んだこと。最低の用意はしておくべき。1、家族でどこの避難所に行くか決める。2、非常時の持ちだす袋に携帯やスマホの充電器。3、水と食料は三日分は備蓄する。4、動ける人は進んで人のために尽くす。

まだまだあったが、火とガス、電源は落としてから避難を。

新会長さん紹介

(令和元年12月26日お運び)
余市支部

余市分教会 (高安)

奉告祭令和2年3月11日



原田 貴史 氏 (41歳)

真冬の集い開催

教区学生会

「春学」に向けて会員の意識を高め、おちばがえり参加者の増員と心を揃えることを目的に毎年開催している。

「参加者は、冬の寒さにも負けず、元気に外で遊んでくれました。春学にも興味を湧いてくれる参加者さんもいてとてもいい行事となりました。」

委員長 高橋京士

立教183年 (令和2年)

春の学生おちばがえり

教区学生会募集要項

日程……令和2年3月25日(水)～3月30日(月)
(往路・復路共フェリー、苫小牧～敦賀)

全日程コース (25日～30日) ……………42,000円

往路・復路コース (25日～29日・26日～30日) ……………26,000円

現地参加コース (26日～29日) ……………7,500円

※参加費用には期間中の行事費・交通費・宿泊費・食費が含まれています。

※教務支庁～フェリー埠頭……バス利用者は別途片道1000円

内 容 本部行事/別席/式典/直属アワー/教区主催行事

宿 舎 天理教芦津大教会信者詰所 (TEL0743-62-0033)

参加対象 高校生(新1年生を含む)、大学生・短期大学生、
大学院生、専門学校生

申込×切 令和2年3月18日

※別席を運ばれる方は願書・席札等ご用意下さい。

◆問い合わせ…各支部学生担当委員長、または下記担当者迄
教区学生担当委員会…笹田弘行 TEL090-5224-9730
宮川直人 TEL090-5984-3756
(料金に関する問い合わせは宮川まで)

《教区輸送部からご案内》

★教祖ご誕生祭…関西空港～おちば間のバス輸送

行き…関空～おちば 4月16日、17日両日も同じ時間で

①14:00第1ターミナル発

②15:40第2ターミナル発 15:50第1ターミナル発

※おちば降車場所…天理駅・敷島詰所横・神殿南乗降場

帰り…4月20日 天理駅前西1駐車場集合

① 7:15集合 7:30発

②10:45集合11:00発

③12:45集合13:00発

・ご利用料金は1人2,000円 小学生以下は1,000円

集合場所で集金します

*お問い合わせ…教区輸送部・武田巳千郎

011-681-2433

携帯090-9974-4643



※立教183年こどもおちば がえり変更点について

●日程 7月26日～8月2日

(二日間短縮されます)

教区団の少年ひのきしん隊も短縮され8月4日帰着予定。

夜のパレードがなくなりま

す。代替え行事として、真東

棟広場での夏祭りを計画中。

・鼓笛隊の御演奏、オンパ

レードも真東棟側からになり

ます。集合場所、時間の変更
にご注意。

計報

・嶋本 静枝様 12月21日出直 (87歳)

久壽里分教会 前会長夫人(銅根支部)

・松岡 清様 1月23日出直 (93歳)

旭榮分教会 (上川支部)

・町田 正信様 2月1日出直 (84歳)

西幣舞分教会 前会長 (銅根支部)

・中辻 暁子様 2月2日出直 (84歳)

北星分教会 前会長夫人(札幌東支部)

北海道教務支庁日誌抄

(12月19日～2月19日)

12月 25日 教区長会議

26日 本部月次祭遥拝式

1月 28日 御用納め

1日 元旦祭

4日 御用始め

6日 たすけ推進会議

7日 支部長会議

8日 任命願書発送

10日 事情願書発送

18日 学生会例会

21日 青年会例会

25日 道の教職員の集い例会

26日 本部春季大祭遥拝式

27日 教区長会議

31日 布教の家寮祭

2月 1日 たすけ推進会議

2日 支部長会議

4日 任命願書発送

5日 事情願書発送

9日 学生会例会

15～19日 教区報編集会議